

せせらぎ



令和4年9月7日
富士市立原田小学校
学校だより 9月号

(令和4年度 重点目標) ○「いいね。」を広げよう ○よく聞いて 自分の考えをもとう

夏休みが終わりました

校長 大橋 幸治

今年の夏休みは、子供たちにとってどんな夏休みだったでしょうか。コロナ禍での3回目の夏休み。制限の多い生活だったと思いますが、きっと貴重な経験ができたと思います。



9月1日(木)に夏休み明け最初の朝礼をリモートで行いました。各教室と校長室をつなぎ、互いの様子を分かるようにしました。モニターを通してですが、目の前に子供たちがいると丁寧に話をしなくてはと気合が入ります。朝礼では、以下の二点について話をしました。

一点目は、自分から工夫して取り組んでみようという話です。4月の始業式や入学式で子供たちに「気持ちがよくなるように工夫して挨拶してみよう」という話をしました。自分で工夫することが大切で、他人に言われてするのでは、なかなか力が付きません。日常の些細な生活の中で、自分から進んで行うことで気持ちよくなったり、続けることで自然と成長したりすることがたくさんあります。今年度の重点目標【「いいね」を広げよう】につながります。

二点目は、読書についてです。原田小学校の子供たちは、前期の学校アンケートで本に親しんでいる子が多くないという結果が出ました。少しでも刺激になればと、私の拙い読書経験の話をしました。小さいころに読んだ絵本の場面を今でも覚えていること。本を読んでもくれた人の声を思い出せること。日常生活の中では気付かなかったことを発見できたこと。知らなかった世界をその場にいるような体験ができたこと。困った時や、なんとなく気持ちがもやもやする時に、自分の気持ちを言葉で表現した文章に出会い、自分の気持ちをストンと落ち着かせることができたこと。

本を読む時間は、自分自身と対話する時間になり、視野を広げる機会にもなります。何世代にもわたり読み継がれてきた本がおすすめです。自分が読みたい本を探して、手に取ってほしいです。じっくり味わいながら、気持ちよく読書ができる時間は宝物です。たくさん読むことよりも、これからの4か月間は自分にとってよい本と出会うことにチャレンジしてほしいです。」といった話をしました。

御家庭でも、子供たちが自分から挨拶等に取り組んだり、読書に親しんだりする姿がありましたら、温かく見守っていただけると嬉しいです。